

# JSA規格

JSA-S1017:2023

## 可搬型ローカルクラウド システム（M-LACS）

2023年1月11日 発行

ICS 33.040.01

一般財団法人日本規格協会は本書の著作権を含む知的財産に関する権利を有します。

購入者といえども、如何なる形態においても、また書面であると電子的記録物（インターネット等）であるとを問わず、本書の記載の一部あるいは全部を、複製、改変、展示、送信、頒布、譲渡、転載、翻訳等の対象とすることはできません。

一般財団法人日本規格協会は、本書に記載された情報・ノウハウ等の購入者の使用に関与せず、これらの使用によって生じる結果ないし製造された製品等に関する責任も一切負いません。また、この規格の一部が特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性については最終的に使用者が判断すべきであり、一般財団法人日本規格協会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認についても責任を持ちません。

本書を使用する者は、本書に記載された情報・ノウハウ等が一般的な情報に過ぎないことを認識しかつこれを自己の責任において使用、実施する事を保証すると共に、自らの使用ないし自己を介して第三者に使用させることによって生じた全ての結果に関し一般財団法人日本規格協会を免責させるものとします。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 略語	2
5 概要	2
6 可搬型ローカルクラウドシステム (M-LACS)	3
7 M-LACS のネットワーク化	8
8 M-LACS の主なユースケース	11
9 M-LACS のライフサイクルマネジメント	13
10 その他考慮事項	15
附属書 A (参考) 情報通信サービスの特性と災害時の課題	16
附属書 B (参考) 移動可能で展開可能な ICT リソースユニットに関する情報	26
附属書 C (参考) 他システムとの組合せ例 (Portable SIP4D)	34
附属書 D (参考) 居住地域での実現可能性調査 (UR 連携実証実験)	37
附属書 E (参考) 途上国での実現可能性調査 (CEBU での実証実験)	39
参考文献	42

## まえがき

この **JSA** 規格は、可搬型ローカルクラウドシステムについて、株式会社国際電気通信基礎技術研究所が開発主体を務める規格開発グループで案を検討・作成し、**JSA** 規格開発制度に基づく作成過程等の確認を経て、2023 年 1 月 11 日付で発行した **JSA** 規格である。

この **JSA** 規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この **JSA** 規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。一般財団法人日本規格協会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

この **JSA** 規格の情報をを用いて利用者が行う一切の行為について、また、当該行為に起因して生じる一切の損害について、一般財団法人日本規格協会は責任をもちない。

この **JSA** 規格は、発行の日から 3 年を経過する日までに見直しを行う。見直しの結果によって、改正又は廃止することがある。また、この **JSA** 規格が将来、**JIS** 若しくは国際規格として発行された場合、又はこれらの規格に取り込まれた場合には、この **JSA** 規格は廃止する。これらによるほか、この **JSA** 規格は予告なしに改正又は廃止することがある。

# 可搬型ローカルクラウドシステム (M-LACS)

## Requirements for Movable Locally Accessible Cloud System (M-LACS)

### 序文

この JSA 規格は、昨今、世界的に増加しつつある大規模災害などによって通信機能が途絶した地域、又は元来、通信機能が備わっていない、若しくは通信機能が不十分な地域に対して、必要とされる通信機能を短時間に立ち上げ、利用可能にするための通信システムの必要条件を規格化するものである。

### 1 適用範囲

この JSA 規格は、可搬型ローカルクラウドシステム（以下、M-LACS という。）の標準仕様について規定する。

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この JSA 規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの JSA 規格の要求事項を構成している。この引用規格は、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。

ITU-T L.392:2016, Disaster management for improving network resilience and recovery with movable and deployable information and communication technology (ICT) resource units

### 3 用語及び定義

この JSA 規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

#### 3.1

##### 通信途絶

電話サービス、インターネット接続サービスなど、通信ネットワークを介して提供されるサービスが利用できない、又は著しく利用しにくい状況

**注釈 1** 通信途絶が起こる原因には、災害時に情報通信ネットワークを構成する通信設備の損壊、停電、輻輳などの発生によるもののほか、イベント時における通信輻輳の発生によるものなどがある。途上国などで通信ネットワークが十分整備されておらず、日常的にインターネットへの接続ができない、又は低い伝送速度かつ不安定な状態での接続しかできない状況も通信途絶に含まれる。

#### 3.2

##### プラットフォーム機能